

承認番号	2020-066
研究課題名	術前、術後の房室弁患者の冠動脈と房室弁輪に対する解剖学的検討
研究の意義・目的	房室弁（僧帽弁、三尖弁）に対する手術を施行する際の合併症として冠動脈の損傷があり、広域な急性心筋梗塞を引き起こす重篤な合併症の一つであります。われわれは手術前の検査として造影C Tを行い、これを解析して手術前にそれぞれの患者さんの僧帽弁と冠動脈の距離を測定し、損傷リスクを評価したうえで手術に臨んでおります。今回の研究では損傷リスクの高い患者さんなど、治療経過で必要と考えられた患者さんに、術後も造影C Tを撮影させていただき、冠動脈損傷の有無を評価することが目的であります。
研究を行う期間	倫理委員会承認後～2028年12月31日
研究対象者の範囲	2013年4月1日から2026年12月31日までで大阪公立大学医学部附属病院の心臓血管外科で僧帽弁や三尖弁に対する手術を受けられ、診療上の理由で術後心臓C Tが必要であった患者様が対象です。
お願いする内容	<ul style="list-style-type: none"> ■大阪公立大学医学部附属病院のみで研究いたします。 ① 患者様の基本情報：年齢、性別、診断名、身長、体重、イニシャル、New York Heart Association分類 ② 冠動脈病変、心エコー所見、手術術式、手術前治療歴、既往歴、合併症、心電図所見、C T所見、入院記録（サマリ）、術後合併症 上記はいずれもカルテから情報を入手します。
頂いた試料・情報の管理について責任者	施設名：大阪公立大学大学院医学研究科 補職名：心臓血管外科学教授 柴田利彦
この研究を行っている共同研究機関	研究責任者 施設名：大阪公立大学大学院医学研究科 補職名：心臓血管外科学教授 柴田利彦
代表施設のURL	URL： http://osaka-cu-surg2.jp/team/cardiovascular.html
研究の成果を公表する方法	研究対象者を特定できないようにしたうえで <ul style="list-style-type: none"> ① 学会発表や論文 ② 本教室のホームページ(http://www.med.osaka-cu.ac.jp/ocum-surgery/index.html) で公表する
研究に協力をしたくない場合	下記に連絡することでいつでも本研究への参加を拒否できます。また、研究への参加を断っても、診療に関する不利益等を受けることはありません。
連絡先	所属・職名：大阪公立大学大学院医学研究科 心臓血管外科学 担当者：心臓血管外科 教授 柴田利彦 住所：〒545-0051 大阪市阿倍野区旭町1-4-3 電話番号：06-6645-3838 FAX：06-6646-3071